

## 若葉通線法面修繕に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和6年2月5日(月)～令和6年2月26日(月)

○結果：提出者7名 提出された意見7件

No.	意見の概要	市の考え方
1	南海トラフによる大地震や津波の被害を考えて計画して頂ければいいかと思えます。	今回の修繕にて法面の健全性を高めることで、日常的な通行の安全を確保していくことはもとより、大雨や地震などの災害に対しても壊れにくい法面になると考えておりますので、早期完成を目指して事業を進めてまいります。
2	日頃利用することのない道なので、私自身は特に困ったり、不安に思ったりすることはない所ですが、地域の方々が日常生活を送るうえで、さらに、災害時などで困ることのないよう良きにはからって下さい。	
3	宅地にするのが一番良いと思えます。 若い人限定で分譲し、延岡に住んでもらい少子化対策にもつながると思えます。	周辺住宅へ多大な影響を与えることから、宅地化は困難であると考えております。 今回は、現状の法面の健全性を高める修繕工事であり、若葉通線の通行の安全性を高める事業となっています。
4	法面崩壊による危険は周辺地域の通行、生活等に多大な影響を及ぼすことは認識できます。しかし、修繕面積が8,300㎡と広大であるため事業費が約3億5千万円となっています。 公表場所が多くありますが、仕事している私にとって市のホームページしか閲覧できませんが、ネットで検索してもヒットできませんでした。 修繕工法がわかりませんでした。また、国の補助金交付があつての事業費3億5千万円なのか、補助金なしでの金額なのかをアナウンスしてほしいです。修繕後の耐用年数も知りたかったです。	パブコメの公表場所に関しては、市のホームページにも掲載しておりますので、検索にあたっては「延岡市 パブコメ 若葉」などのキーワードを入れて検索していただくと幸いです。 また、当該事業は、国の補助金交付の対象となる事業ではありませんが、出来る限り市に有利な起債を利用して事業を進めております。 今回の修繕工法は、既存モルタル吹付に補強鉄筋を配置し、既存モルタル吹付の上から新たに繊維モルタル吹付を行い、次に背面の空洞がある部分にモルタルを充填して、既存と新設とを一体化させ、より安定した法面にリニューアルする新技術を用いた工法となっています。 修繕後の耐用年数につきましては、一般的なモルタル吹付の耐用年数は約30年程度を一つの目安とされていますが、現地の条件や気象等の影響により、その年数が前後することも考えられます。

## 若葉通線法面修繕に関する意見に対する市の考え方

○意見募集期間：令和6年2月5日(月)～令和6年2月26日(月)

○結果：提出者7名 提出された意見7件

No.	意見の概要	市の考え方
5	<p>若葉通線は市民の重要な生活道であり、計画通り実行されることを希望します。 工事に際しては、安全第一を最優先とされたい。</p>	<p>本市道は、平原・緑ヶ丘地区と若葉・片田地区を結ぶ幹線道路として周辺地域の交通や生活において重要な路線となっており、今年度を初年度し5カ年を計画期間として、令和9年度の完成を目指し進めております。 工事期間中は、利用される皆様が安心して通行することができるように万全を期して事業を進めてまいります。</p>
6	<p>従来のモルタルで構築された法面は無機質で有り、環境への貢献や美観の向上に課題があると以前より感じていました。若葉通線は交通量も多く子供達の通学路でもあります。私は、延岡市の美しい景観を保護し、より持続可能な都市環境および安全性を実現するために、緑化された法面の導入を提案します。緑化された法面は、都市の緑化環境に貢献し、また、市民の健康や心理的にも良い影響を与えると考えられます。この提案を通じて延岡市がより安全性を実現し、緑化環境に貢献した美しい都市空間を実現する一助となれば幸いです。</p>	<p>今回は、現状の法面を活かしながら健全性の高い法面へ修繕する工事であり、採用している工法も、既存のモルタル吹付の上から新たな繊維モルタル吹付を行い、既存モルタルと一体化させることにより、安定した法面にする工事になっています。また、今回の工事箇所については、土質が岩盤であることから、緑化は難しく、モルタル吹付による法面保護を行う考えであります。 しかしながら、他の道路の新設や改良を計画する際は、地形や土質区分などを総合的に勘案しながら、緑化による法面保護も含めて検討していきたいと考えております。</p>
7	<p>若葉通線はたまに通っている所であり、崩壊する危険があるなら今すぐにも工事を始めてほしい。 以前、伊形の方で崩壊したときも困ったので、危ないところはすぐにも。 工事する方も、安全面に気をつけてください。</p>	<p>工事期間中は、利用する皆様が安心して通行することができるように万全を期すと共に、安全性の早期の実現を目指し進めてまいります。</p>